

令和2年度 ネットワークコア運営協議会構成員名簿

令和2年10月1日現在

大学名	所 属	氏 名	担当	FD専門部会委員	SD専門部会委員
徳島大学	高等教育研究センター教育改革推進部門 准教授	吉田 博	FD	○	
	高等教育研究センター教育改革推進部門 助教	飯尾 健	FD	○	
	高等教育研究センター教育の質保証支援室 助教	塩川 奈々美	FD	○	
	総務部 人事課長	河野 信幸	SD		○
	総務部人事課 副課長	早瀬 喜春	SD		○
	学務部教育支援課 教育企画室長	川野 晋資	事務		
	学務部教育支援課 専門職員	白田 智子	事務		
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部長 教授	石井 知彦	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	葛城 浩一	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	佐藤 慶太	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	西本 佳代	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 特命講師	小坂 有資	FD	○	
	教育・学生支援部修学支援グループ サブリーダー	圖子 賀津美	FD		
	教育・学生支援部修学支援グループ グループ員	中村 正樹 小橋 美幸	FD		
	企画総務部次長((併)給与福利グループリーダー)	小西 誠二	SD		○
	企画総務部給与福利グループ チーフ	宮崎 慎也	SD		○
	教育・学生支援部学務グループ リーダー	藤沢 博伸	事務		
教育・学生支援部学務グループ グループ員	井戸元 彩夏	事務			
高知大学	大学教育創造センター センター長 教授	塩崎 俊彦	FD	○	
	大学教育創造センター 准教授	杉田 郁代	FD	○	
	大学教育創造センター 特任講師	高畑 貴志	FD	○	
	大学教育創造センター(兼務) 講師	俣野 秀典	FD	○	
	総務部 人事課長	田所 佐史	SD		○
	総務部人事課 専門員(労務担当)	有友 幸代	SD		○
	総務部人事課労務管理係 主任	市川 美波	SD		
	学務部学務課 課長補佐	有澤 英之	事務		
	学務部学務課 特任専門員(総務担当)	井上 博文	事務		
	学務部学務課 総務係長	吉岡 瞳	事務		
学務部学務課総務係 事務補佐員	矢野 日菜子	事務			
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長/教育企画室長 教授	小林 直人	議長・FD	○	
	教育・学生支援機構教育企画室 講師	村田 晋也	FD	○	
	教育・学生支援機構教育企画室 講師	仲道 雅輝	FD	○	
	教育・学生支援機構教育企画室 副室長 教授	中井 俊樹	SD		○
	教育・学生支援機構教育企画室 講師	竹中 喜一	SD		○
	総務部 人事課長	米田 健	SD		○
	総務部人事課人事・人材育成チーム チームリーダー	山浦 久美子	SD		
	総務部人事課人事・人材育成チーム サブリーダー	山根 佑介	SD		
	教育学生支援部長	近藤 理	事務		
	教育学生支援部 愛媛大学SD統括コーディネーター	吉田 一恵	SD		○
	教育学生支援部 教育企画課長	織田 隆司	FD・事務	○	
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム チームリーダー	藤原 力	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム サブリーダー	進藤 千晶	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	宇都宮 遼	事務		
教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	小林 紘子	事務			

ネットワークコア運営協議会の構成員に関する申合せ(抄)
(組織)第2 協議会は、次の(1)～(4)に掲げる構成員をもって組織する。

- (1) 議長
- (2) 各コア校のFD担当者
- (3) 各コア校のSD担当者
- (4) 各コア校の事務担当者

ネットワークコア運営協議会FD専門部会名簿
(令和2年10月1日現在)

大学名	所 属	氏 名	備 考
徳島大学	高等教育研究センター教育改革推進部門 准教授	吉田 博	第3条第1号委員
	高等教育研究センター教育改革推進部門 助教	飯尾 健	第3条第1号委員
	高等教育研究センター教育の質保証支援室 助教	塩川 奈々美	第3条第1号委員
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部長 教授	石井 知彦	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	葛城 浩一	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	佐藤 慶太	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	西本 佳代	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 特命講師	小坂 有資	第3条第1号委員
高知大学	大学教育創造センター センター長 教授	塩崎 俊彦	第3条第1号委員
	大学教育創造センター 准教授	杉田 郁代	第3条第1号委員
	大学教育創造センター 特任講師	高畑 貴志	第3条第1号委員
	大学教育創造センター(兼務) 講師	俣野 秀典	第3条第1号委員
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長 教授	小林 直人	第3条第1号委員
	教育・学生支援機構教育企画室 講師	村田 晋也	第3条第1号委員
	教育・学生支援機構教育企画室 講師	仲道 雅輝	第3条第1号委員
	教育学生支援部 教育企画課長	織田 隆司	第3条第2号委員

※オブザーバー除く

ネットワークコア運営協議会の構成員に関する申合せ

平成23年3月29日

ネットワーク総会決定

(趣旨)

第1 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（以下「規約」という。）第10条に規定する「ネットワークコア運営協議会」（以下「協議会」という。）の構成員及びその役割について、規約第14条の規定に基づき、必要な事項を以下のとおり定める。

(組織)

第2 協議会は、次の（1）～（4）に掲げる構成員をもって組織する。

- （1） 議長
- （2） 各コア校のFD担当者
- （3） 各コア校のSD担当者
- （4） 各コア校の事務担当者

(構成員の届け出)

第3 各コア校は、前項の構成員を、毎年度4月に、SPOD事務局へ届け出ることとする。

- 2 異動等により、構成員に変更がある場合には、速やかにSPOD事務局へ届け出ることとする。

(構成員の役割)

第4 各コア校の構成員は、各コア校内において、以下の役割を担うものとする。

- （1） 協議会終了後に、SPODの会長、副会長及び学内関係者に議事概要等を報告することにより、協議会の審議事項について情報共有を行う。
- （2） 重要な案件に関して大学としての意見を求められた場合、大学として速やかな意思決定ができるように学内調整を行う。

ネットワークコア運営協議会FD専門部会要項

平成22年8月18日

ネットワークコア運営協議会決定

(設置)

第1条 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第12条の規定に基づき、ネットワークコア運営協議会（以下「協議会」という）に、ネットワークコア運営協議会FD専門部会（以下「専門部会」という）を置く。

(審議事項)

第2条 専門部会は、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（以下「SPOD」という）のFD事業に関する次の各号に掲げる事項について審議し、その効果的な事業推進のための具体案を作成し、協議会に提案する。

- (1) FD事業計画に関する事項
- (2) FDプログラムに関する事項
- (3) ファカルティ・ディベロッパーの養成に関する事項
- (4) FDに関する研究
- (5) その他FD事業の推進に関する必要な事項

(組織)

第3条 専門部会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 各コア校のFD担当者 各若干名
- (2) SPOD事務局の職員 若干名
- (3) その他専門部会が必要と認めた者

(部会長、副部会長)

第4条 専門部会に部会長（1名）、副部会長（1名）を置く。

- 2 部会長は、委員の互選により選出する。
- 3 部会長は、専門部会を招集し、その議長となる。
- 4 副部会長は、部会長の所属校を除くコア校から部会長が指名する。
- 5 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。
- 6 部会長及び副部会長の任期は、当該年度の第1回専門部会において選出された時から、次年度の第1回専門部会において後任者が選出される時までとする。ただし、再任を妨げない。なお、部会長及び副部会長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(議事)

第5条 専門部会は、委員（代理者を含む。以下同じ。）の過半数が出席しなければ議事を開くことができない。

2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。

(事務)

第6条 専門部会に関する事務は、SPOD事務局において行う。

(雑則)

第7条 この要項に定めるもののほか、専門部会の運営に関し必要な事項は専門部会が定める。

附 則

1 この要項は、平成22年8月18日から施行する。

2 この要項施行後、最初に選出される第4条第1項の部会長及び副部会長の任期は、同条第6項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

附 則

この要項は、平成30年7月23日から施行する。

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク臨時総会（紙上）議事概要

- 1 期 間：令和2年8月17日（月）～8月31日（月）
- 2 場 所：紙上
- 3 議 長：国立大学法人愛媛大学長 大橋 裕一
- 4 出席者：34名
- 5 議 題

(1) 令和2年度事業予算及び令和2年度共同事業契約における役割分担等について

令和2年度事業予算(案)及び令和2年度共同事業契約における役割分担等(案)について、令和元年度四国地区大学教職員能力開発ネットワーク総会(令和2年3月18日～25日(書面審議))において承認されたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの中止や開催方法の変更等があったことに伴い、令和2年度のSPOD事業予算、各加盟校の負担金を再計算した。

本件については共同事業契約書第7条に定める総会の審議事項であることから、紙上による臨時総会を開催した結果、承認34名、不承認0名で承認された。

【参考】共同事業契約書（抄）
（役割分担）

第4条 本共同事業の役割分担は、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約」（以下「ネットワーク規約」という。）第9条に定めるSPOD総会（以下「総会」という。）の議を経て、別に定める。

（実施体制）

第5条 本共同事業の実施体制は、ネットワーク規約によるものとする。

（事業契約期間）

第6条 本共同事業契約は、契約の日から1年間有効とする。ただし、事業契約期間満了日の3ヶ月前までに甲または乙から解約の申入れがない限り、本契約は自動的に更新され、以後も同様とする。

（事業経費及びその負担額）

第7条 本共同事業に要する費用（以下「事業経費」という。）並びに当該事業経費に係る甲及び乙の負担額は、総会の議を経て、別に定める。

（負担額の納付）

第8条 甲及び乙は、前条の規定に基づき別に定める負担額を、甲の発する振込依頼書により、当該振込依頼書に定める納付期限までに納付しなければならない。

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク臨時総会回答結果

議題：令和 2 年度事業予算及び令和 2 年度共同事業契約における
役割分担等について

	加 盟 校 名	承認	不承認
1	徳島大学	○	—
2	鳴門教育大学	○	—
3	香川大学	○	—
4	愛媛大学	○	—
5	高知大学	○	—
6	香川県立保健医療大学	○	—
7	愛媛県立医療技術大学	○	—
8	高知県立大学	○	—
9	高知工科大学	○	—
10	四国大学	○	—
11	徳島文理大学	○	—
12	高松大学	○	—
13	聖カタリナ大学	○	—
14	松山大学	○	—
15	松山東雲女子大学	○	—
16	高知学園大学	○	—
17	高知リハビリテーション専門職大学	○	—
18	四国大学短期大学部	○	—
19	徳島工業短期大学	○	—
20	徳島文理大学短期大学部	○	—
21	香川短期大学	○	—
22	高松短期大学	○	—
23	今治明德短期大学	○	—
24	聖カタリナ大学短期大学部	○	—
25	松山東雲短期大学	○	—
26	松山短期大学	○	—
27	高知学園短期大学	○	—
28	岡山理科大学獣医学部	○	—
29	人間環境大学松山看護学部	○	—
30	阿南工業高等専門学校	○	—
31	香川高等専門学校	○	—
32	新居浜工業高等専門学校	○	—
33	弓削商船高等専門学校	○	—
34	高知工業高等専門学校	○	—
	合計	34	0

令和2年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業予算

1 予算の概要

令和2年度のSPOD事業は、各加盟校から負担いただく①「ネットワーク年会費」と、各研修プログラムにおける加盟校以外の参加者から徴収する②「研修料(実費相当額)」をもとに運営する。

2 予算計画

(1) 収入予算

(単位:円)

事項	当年度 (R2年度) 当初予算	当年度 (R2年度) 予算	差額	備考
① ネットワーク年会費	6,862,000	3,770,000	-3,092,000	
・基本額及び 教職員数に基づく負担金	6,850,000	3,770,000	-3,092,000	令和2年度 ネットワーク年会費内訳(案)のとおり
・基本額及び 教職員数に基づく負担金 (当該年度新規加盟校分)	12,000			
② 研修料 ※SPOD加盟校以外からの研修 参加費(実費相当額)	1,500,000	0	-1,500,000	
合計	8,362,000	3,770,000	-4,592,000	

(2) 支出予算

(単位:円)

事項	当年度 (R2年度) 当初予算	当年度 (R2年度) 予算	差額 (R2-R1)	備考
① 事業費	4,823,244	1,133,320	-3,689,924	
・FD	193,600	0	-193,600	
・SD	1,098,940	292,740	-806,200	・SPOD外SD講師旅費等 51,300 ・SPOD内SD講師旅費等 241,440
・SPODフォーラム	2,422,664	0	-2,422,664	
・SPOD共通	722,660	455,200	-267,460	・SPOD内講師派遣旅費 16回 155,200 ・講師活動費 200,000 ・調査研究プロジェクト事業旅費等 100,000
・事業評価等	385,380	385,380	0	・評価委員会委員旅費・謝金 207,780 ・コア校出席者旅費 6人 133,600 ・会計監査委員旅費 2人 44,000
② ネットワーク運営費	1,704,100	822,600	-881,500	
・会議費	668,000	0	-668,000	
・広報費	936,100	722,600	-213,500	・印刷物関係(プログラムガイド 82,500 実績報告書 500,100 郵送費 40,000) ・HP関連経費 100,000
・通信費	0	0	0	
・備品費	0	0	0	
・消耗品費	100,000	100,000	0	・文房具, コピー用紙代, 郵送費等
③ 人件費	1,800,000	1,800,000	0	
・SPOD事務局	1,800,000	1,800,000	0	・SPOD事務局 能力開発アシスタント (SPODのSD業務及びSPOD運営を担う事務補佐員1名の人件費)
④ 予備費	34,656	14,080	-20,576	
合計	8,362,000	3,770,000	-4,592,000	

令和2年度 ネットワーク年会費内訳

教職員数に基づく負担金

加盟大学等名	常勤教職員数 (R1.5.1現在)			教職員 ×単価 1,000	基本額 (法人単位) 50,000	合計	条件3に 基づく 調整後の額	代表校負担 による 調整額	C 差し引き 負担額 ※千円未満切捨	D 再調整額 ※千円未満切捨	E 負担額 (再調整後)	参考 令和2年度 当初負担額 との差額
	教員数	職員数	計									
国 徳島大学	785	356	1,141	1,141,000	50,000	1,191,000	1,191,000	▲ 188,000	1,003,000	▲ 532,000	471,000	▲ 386,000
国 鳴門教育大学	131	94	225	225,000	50,000	275,000	275,000	▲ 43,000	232,000	▲ 123,000	109,000	▲ 89,000
国 香川大学	504	318	822	822,000	50,000	872,000	872,000	▲ 138,000	734,000	▲ 389,000	345,000	▲ 282,000
国 愛媛大学	697	349	1,046	1,046,000	50,000	1,096,000	1,096,000	△ 1,096,000	2,192,000	▲ 1,162,000	1,030,000	▲ 843,000
国 高知大学	558	278	836	836,000	50,000	886,000	886,000	▲ 140,000	746,000	▲ 396,000	350,000	▲ 288,000
公 香川県立保健医療大学	54	12	66	66,000	50,000	116,000	116,000	▲ 18,000	98,000	▲ 52,000	46,000	▲ 38,000
公 愛媛県立医療技術大学	56	13	69	69,000	50,000	119,000	119,000	▲ 18,000	101,000	▲ 53,000	48,000	▲ 38,000
公 高知県立大学	126	63	189	189,000	50,000	481,000	481,000	▲ 76,000	405,000	▲ 215,000	190,000	▲ 156,000
公 高知工科大学	153	89	242	242,000								
私 四国大学	140	103	243	243,000	50,000	352,000	352,000	▲ 55,000	297,000	▲ 158,000	139,000	▲ 115,000
私 四国大学短期大学部	39	20	59	59,000								
私 徳島文理大学	331	105	436	436,000	50,000	532,000	500,000	▲ 79,000	421,000	▲ 223,000	198,000	▲ 162,000
私 徳島文理大学短期大学部	36	10	46	46,000								
私 高松大学	42	23	65	65,000	50,000	147,000	147,000	▲ 23,000	124,000	▲ 66,000	58,000	▲ 48,000
私 高松短期大学	19	13	32	32,000								
私 聖カタリナ大学	56	28	84	84,000	50,000	152,000	152,000	▲ 24,000	128,000	▲ 68,000	60,000	▲ 49,000
私 聖カタリナ大学短期大学部	11	7	18	18,000								
私 松山大学	177	118	295	295,000	50,000	360,000	360,000	▲ 57,000	303,000	▲ 161,000	142,000	▲ 117,000
私 松山短期大学	10	5	15	15,000								
私 松山東雲女子大学	22	18	40	40,000	50,000	135,000	135,000	▲ 21,000	114,000	▲ 60,000	54,000	▲ 43,000
私 松山東雲短期大学	24	21	45	45,000								
私 徳島工業短期大学	18	7	25	25,000	50,000	75,000	75,000	▲ 11,000	64,000	▲ 34,000	30,000	▲ 25,000
私 香川短期大学	47	17	64	64,000	50,000	114,000	114,000	▲ 18,000	96,000	▲ 51,000	45,000	▲ 37,000
私 今治明德短期大学	23	15	38	38,000	50,000	88,000	88,000	▲ 13,000	75,000	▲ 40,000	35,000	▲ 29,000
私 高知学園大学 (R2.4開設時の職員数)	34	15	49	49,000	50,000	181,000	181,000	▲ 28,000	153,000	▲ 81,000	72,000	▲ 59,000
私 高知リハビリテーション 専門職大学	30	12	42	42,000								
私 高知学園短期大学 (R2.4開設時の職員数)	40	0	40	40,000								
私 岡山理科大学獣医学部	79	20	99	99,000	50,000	149,000	149,000	▲ 23,000	126,000	▲ 67,000	59,000	▲ 49,000
私 人間環境大学松山看護学部	27	8	35	35,000	50,000	85,000	85,000	▲ 13,000	72,000	▲ 38,000	34,000	▲ 28,000
国 阿南工業高等専門学校	66	26	92	92,000	10,000 <small>※件4</small>	102,000	102,000	▲ 16,000	86,000	▲ 46,000	40,000	▲ 34,000
国 香川高等専門学校	111	97	208	208,000	10,000 <small>※件4</small>	218,000	218,000	▲ 34,000	184,000	▲ 97,000	87,000	▲ 70,000
国 新居浜工業高等専門学校	79	27	106	106,000	10,000 <small>※件4</small>	116,000	116,000	▲ 18,000	98,000	▲ 52,000	46,000	▲ 38,000
国 弓削商船高等専門学校	56	40	96	96,000	10,000 <small>※件4</small>	106,000	106,000	▲ 16,000	90,000	▲ 48,000	42,000	▲ 35,000
国 高知工業高等専門学校	65	27	92	92,000	10,000 <small>※件4</small>	102,000	102,000	▲ 16,000	86,000	▲ 46,000	40,000	▲ 34,000
合計	4,646	2,354	7,000	7,000,000	1,050,000	8,050,000	8,018,000	△ 10,000	C 8,028,000	D ▲ 4,258,000	E 3,770,000	▲ 3,092,000

※常勤教職員の数については、令和元年度学校基本調査(令和元年5月1日現在)の教職員数に以下の条件を当てはめて算出している。
 ※上記は、「教職員数に基づく負担金」を算出するための積算上の人数であり、積算の対象となっていない当該大学等所属教職員についてもSPODを利用できる。
 ただし、学部等単位での加盟の場合は、「大学」を「学部」に読み替えるものとする。
 ※高知学園大学開設時に、大学と短期大学間で職員の異動が発生するため、短期大学についてもR2.4.1を基準日として算出している。

(条件)

1. 教員数は、附属病院及び附置研究所の専任を含めていない。
2. 職員数は、事務系及び教務系のみで数字である。それ以外の技術系等は含めていない。
3. コア校以外については、負担金の「合計」は50万円を上限とする。
4. 高等専門学校については、5高専を1法人とし、1校あたり基本額1万円とする。
5. 研修料見込[B]と負担額[C]の計が、支出予算[A]を上回る場合は、その差額[D]を各校の負担額に応じて再調整して減額する。

条件5に基づく再調整

支出予算【A】	3,770,000
研修料見込【B】	0
負担額【C】	8,028,000
再調整額【D】(B+C-A)	▲ 4,258,000
負担額(再調整後)【E】(C-D)	3,770,000

令和2年度 支出予算内訳

1. 事業費

(1) FD

項目	事項	金額	内訳等
ティーチング・ポートフォリオ 作成ワークショップ (愛媛, 徳島)	講師旅費	0	
	講師謝金	-	SPOD加盟校講師
ティーチング・ポートフォリオ 更新ワークショップ (愛媛)	講師旅費	-	コア校(愛大)講師
	講師謝金	-	コア校(愛大)講師
FD担当者研修	講師旅費・謝金	-	※SPODフォーラムで実施
			0

(2) SD

項目	事項	金額	内訳等
講師旅費・謝金等 (SPOD外)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム レベルⅢ 講師 旅費・謝金	51,300	京都-愛媛 @51,300×1名
講師派遣旅費等 (SPOD内)	次世代リーダー養成ゼミナール	0	
	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム (新任職員)	166,800	高知-愛媛 @21,400(1泊2日)×2名 徳島-愛媛 @23,000(1泊2日)×2名 高知-愛媛 @8,700(日帰り)×2名 ※事前レクチャー 徳島-愛媛 @10,300(日帰り)×2名 ※事前レクチャー 必要物品等
	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム レベルⅡ、レベルⅢ	74,640	高知-愛媛 @21,400(1泊2日)×1名 徳島-愛媛 @23,000(1泊2日)×1名 高知-愛媛 @8,700(日帰り)×1名 ※事前レクチャー 徳島-愛媛 @10,300(日帰り)×1名 ※事前レクチャー 必要物品等
	社会連携系職員養成研修	-	
	国際連携系職員養成研修	-	
学務系職員養成研修	-		
プログラム開発費 (研修費及び旅費)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム 開発等旅費	0	
			292,740

(3) SPODフォーラム

項目	事項	金額	内訳等
講師(SPOD外) 旅費・謝金	講師旅費・謝金	0	
	高等教育トップリーダーセミナー 講師旅費・謝金	0	
講師・運営スタッフ派遣旅費 (SPOD内)	SPODコア校, 加盟校講師旅費	0	
		0	
	運営スタッフ(コア校)	0	
	運営スタッフ(高知県内加盟校)	0	
必要物品等	チラシ	0	
	通信費(チラシ発送等)	0	
	申込みフォーム関連(HP)	0	
	消耗品等	0	
	研修料集金代行サービス手数料	0	
			0

(4) SPOD共通

項目	事項	金額	内訳等
SPOD内講師派遣	講師旅費	155,200	@9,700×1人×16回 ※松山-香川の日帰りで計算 ※遠隔開催等により, 全25回中9回は旅費なし
講師活動費	必要物品等(消耗品)	200,000	@10,000円×20回 ※実施済みのもの等を反映
調査研究プロジェクト	調査研究プロジェクト	100,000	訪問調査に係る経費等
			455,200

(5) 事業評価等

項目	事項	金額	内訳等
事業評価委員会	委員旅費	153,780	@51,260×3人(1泊2日)
	委員謝金	54,000	@6,000×3h×3名
	コア校担当者出席旅費	133,600	FD・SD担当者6人×1回(1泊2日) ※徳島2, 香川2, 高知2
監査	監事旅費	44,000	2人×1回(1泊2日)
		385,380	

2. ネットワーク運営費

(1) 会議費

項目	事項	金額	内訳等
ネットワークコア運営協議会	構成員旅費(※すべて遠隔で開催)	0	
		0	

(2) 広報費

項目	事項	金額	内訳等
印刷物関係	研修プログラムガイド	82,500	※デザイン料のみ@82,500
	研修プログラムガイド郵送	0	
	実績報告書	500,100	※令和元年度実績考慮
	実績報告書郵送	40,000	※令和元年度実績考慮
その他	HP関連経費	100,000	
		722,600	

(3) 消耗品費

項目	事項	金額	内訳等
事務局消耗品		100,000	文房具, 会議資料用コピー用紙, 封筒, 郵送費等
		100,000	

3. 人件費

項目	事項	金額	内訳等
人件費	SPOD事務局(能力開発アシスタント 1名)	1,800,000	SPOD運営及びSPODのSD業務を担う事務補佐員1名の人件費 ※「SPODの将来構想」(平成28年3月24日総会決定)長期的方針5「持続可能なSPODの組織体制を構築する」の「安定的な財政基盤を維持する」ことを目的に、SPOD運営及びSPODのSD業務を担う人員1名の人件費をSPOD経費から支出するもの
		1,800,000	

4. 予備費

項目	事項	金額	内訳等
予備費(活動費)		14,080	各事業において余剰が出た場合は予備費に計上し, プログラム開発, 研修受講, 訪問調査経費等として活用する。
		14,080	

SPOD事業経費	3,770,000
----------	-----------

研修費見込	0
加盟校負担金	3,770,000

令和 2 年度共同事業契約における役割分担等について

令和 2 年 8 月 3 1 日
ネットワーク総会決定

共同事業契約書第 4 条，第 7 条及び第 10 条第 1 項の規定に基づき，令和 2 年度共同事業契約における役割分担，事業経費，負担額及び研修料については，次の各号に掲げるとおりとする。

1 役割分担（第 4 条関係）

区分	法人等名	大学等名	本事業における役割
甲	国立大学法人愛媛大学	愛媛大学	<ul style="list-style-type: none"> ・事業全体の推進及び総括 ・加盟校との連絡調整 ・総会及びネットワークコア運営協議会の運営 ・各種FD/S Dプログラムの開発，実施 ・上記プログラム実施に必要な講師の派遣 ・実績報告書の作成及びとりまとめ
乙	国立大学法人徳島大学	徳島大学	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県内加盟校との連絡調整 ・各種FD/S Dプログラムの開発，実施 ・上記プログラム実施に必要な講師の派遣 ・実績報告書の作成
	国立大学法人香川大学	香川大学	<ul style="list-style-type: none"> ・香川県内加盟校との連絡調整 ・各種FD/S Dプログラムの開発，実施 ・上記プログラム実施に必要な講師の派遣 ・実績報告書の作成
	国立大学法人高知大学	高知大学	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県内加盟校との連絡調整 ・各種FD/S Dプログラムの開発，実施 ・上記プログラム実施に必要な講師の派遣 ・実績報告書の作成
	国立大学法人鳴門教育大学	鳴門教育大学	<ul style="list-style-type: none"> ・各種FD/S Dプログラムの共同開発・実施，意見提示 ・上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 ・実績報告書の作成
	香川県	香川県立保健医療大学	<ul style="list-style-type: none"> ・各種FD/S Dプログラムの共同開発・実施，意見提示 ・上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 ・実績報告書の作成
	公立大学法人愛媛県立医療技術大学	愛媛県立医療技術大学	<ul style="list-style-type: none"> ・各種FD/S Dプログラムの共同開発・実施，意見提示 ・上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 ・実績報告書の作成
	高知県公立大学法人	高知県立大学 高知工科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・各種FD/S Dプログラムの共同開発・実施，意見提示 ・上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 ・実績報告書の作成
	学校法人四国大学	四国大学 四国大学短期大学部	<ul style="list-style-type: none"> ・各種FD/S Dプログラムの共同開発・実施，意見提示 ・上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 ・実績報告書の作成
	学校法人村崎学園	徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部	<ul style="list-style-type: none"> ・各種FD/S Dプログラムの共同開発・実施，意見提示 ・上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 ・実績報告書の作成

学校法人四国高松学園	高松大学 高松短期大学	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
学校法人聖カタリナ学園	聖カタリナ大学 聖カタリナ大学短期大学部	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
学校法人松山大学	松山大学 松山短期大学	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
学校法人松山東雲学園	松山東雲女子大学 松山東雲短期大学	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
学校法人徳島城南学園	徳島工業短期大学	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
学校法人尽誠学園	香川短期大学	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
学校法人今治明德学園	今治明德短期大学	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
学校法人高知学園	高知学園大学 高知リハビリテーション 専門職大学 高知学園短期大学	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
学校法人加計学園	岡山理科大学獣医学部	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
学校法人河原学園	人間環境大学松山看護学部	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
独立行政法人国立高等 専門学校機構	阿南工業高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
独立行政法人国立高等 専門学校機構	香川高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
独立行政法人国立高等 専門学校機構	新居浜工業高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
独立行政法人国立高等 専門学校機構	弓削商船高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成
独立行政法人国立高等 専門学校機構	高知工業高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> 各種FD/SDプログラムの共同開発・実施，意見提示 上記プログラム実施において必要に応じた講師の派遣 実績報告書の作成

2 事業経費（第7条関係）

費目	金額（円）	内訳	
事業費	1,133,320	F D	0
		S D	292,740
		S P O Dフォーラム	0
		S P O D共通	455,200
		事業評価等	385,380
ネットワーク 運営費	822,600	会議費	0
		広報費	722,600
		通信費	0
		備品費	0
		消耗品費	100,000
人件費	1,800,000		
予備費	14,080		
合 計	3,770,000		

3 負担額（第7条関係）

法人名	大学等名	負担金額（円）
国立大学法人徳島大学	徳島大学	471,000
国立大学法人鳴門教育大学	鳴門教育大学	109,000
国立大学法人香川大学	香川大学	345,000
国立大学法人愛媛大学	愛媛大学	1,030,000
国立大学法人高知大学	高知大学	350,000
香川県	香川県立保健医療大学	46,000
公立大学法人愛媛県立医療技術大学	愛媛県立医療技術大学	48,000
高知県公立大学法人	高知県立大学	190,000
	高知工科大学	
学校法人四国大学	四国大学	139,000
	四国大学短期大学部	
学校法人村崎学園	徳島文理大学	198,000
	徳島文理大学短期大学部	
学校法人四国高松学園	高松大学	58,000
	高松短期大学	
学校法人聖カタリナ学園	聖カタリナ大学	60,000
	聖カタリナ大学短期大学部	
学校法人松山大学	松山大学	142,000
	松山短期大学	
学校法人松山東雲学園	松山東雲女子大学	54,000
	松山東雲短期大学	
学校法人徳島城南学園	徳島工業短期大学	30,000

学校法人尽誠学園	香川短期大学	45,000
学校法人今治明德学園	今治明德短期大学	35,000
学校法人高知学園	高知学園大学	72,000
	高知リハビリテーション専門職大学	
	高知学園短期大学	
学校法人加計学園	岡山理科大学獣医学部	59,000
学校法人河原学園	人間環境大学松山看護学部	34,000
独立行政法人国立高等専門学校機構	阿南工業高等専門学校	40,000
独立行政法人国立高等専門学校機構	香川高等専門学校	87,000
独立行政法人国立高等専門学校機構	新居浜工業高等専門学校	46,000
独立行政法人国立高等専門学校機構	弓削商船高等専門学校	42,000
独立行政法人国立高等専門学校機構	高知工業高等専門学校	40,000
合計		3,770,000

4 研修料（第10条第1項関係）

区分	(1) 2時間 以下のプログラム	(2) 4時間 以下のプログラム	(3) 1日で 終了するプログラム	(4) 1泊2 日のプログラム	(5) 2泊3 日以上 のプログラム	(6) S P O Dフォーラム (受講時間、 日数にかかわらず)
研修料	2,000円	4,000円	6,000円	12,000円	18,000円	10,000円
<p>① 上記に関わらず外部委託する研修プログラムの研修料は、委託費の総額を受講定員で除した金額とする。</p> <p>② 次世代リーダー養成ゼミナールについては、第1回（第5回）は(5)を、第2～4回（第6～8回）は1回につき(4)を適用する。</p> <p>③ 「大学教育カンファレンス in 徳島」及び「愛媛大学教育改革シンポジウム」については、原則研修料は徴収しない。</p>						

令和3年度SPOD事業の定量的指標達成度一覧(案)

【上位目的】学生の豊かな学びと成長を支援する、実践的力量をもった「高等教育のプロフェッショナル」を四国から輩出する

【目的】四国地区の大学及び高等専門学校連携・協働により、地区内のFD/SD事業の推進と大学等の教育力の向上を図る

1. SPOD共通事業

1-1)SPODフォーラムの実施	達成度 (5段階)	一昨年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(定員・ 一昨年度実績)		
③参加校数(実数)		
④満足度		

1-2)SPOD内講師派遣の実施	達成度 (5段階)	一昨年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(一昨年度実績)		
③参加校数(延べ数・実数)		
④満足度		

SPODホームページ	達成度 (5段階)	一昨年度比(%)
トップページ等閲覧数		
PDF資料等ダウンロード数		

※R3.4.1～R4.3.31の数値

1-3) FD・SDに関する調査・研究
 1-4) SPOD将来構想ワーキンググループ
 1-5) 情報提供サービス

- ・研修プログラムガイドの発行
- ・SPOD活動報告書の発行
- ・SPODホームページの管理・更新
- ・メールマガジンの発行

2. FD事業

2-1)新任教員研修の実施・公開	達成度 (5段階)	一昨年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(一昨年度実績)		
③参加校数(一昨年度実績)		
④満足度		

2-2)ティーチング・ポートフォリオ作成WSの実施・公開	達成度 (5段階)	一昨年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(一昨年度実績)		
③参加校数(一昨年度実績)		
④満足度		

2-3)各種FDプログラムの開発・実施	達成度 (5段階)	一昨年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(一昨年度実績)		
③参加校数(一昨年度実績)		
④満足度		

3. SD事業

3-1)大学人・社会人としての基礎力養成プログラムの実施	達成度 (5段階)	一昨年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(一昨年度実績)		
③参加校数(一昨年度実績)		
④満足度		

3-2)次世代リーダー養成ゼミナールの実施	達成度 (5段階)	一昨年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(一昨年度実績)		
③参加校数(一昨年度実績)		
④満足度		

3-3)SPOD-SDCの輩出	達成度 (5段階)	一昨年度比(%)
新規認定者数		

3-4)各種SDプログラムの開発・実施	達成度 (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(一昨年度実績)		
③参加校数(一昨年度実績)		
④満足度		

4. SPOD運営

4-1)各種会議の実施

- ・総会
- ・ネットワークコア運営協議会
- ・事業評価委員会
- ・監査
- ・その他 FD/SD分科会

SPOD加盟校県内会議

(表の見方) ※詳細な数値は別紙参照

番号	目標値	実績	単位	達成度 (5段階)	達成率 (%)	前年度比 (%)
①	実施予定プログラム数	実施プログラム数	件			
②	プログラム定員数 前年度実績	参加者数(延べ数)	人		達成率 5:110%以上 4:100%以上 3:80%以上 2:80%未満	R元年度 達成率 H30年度 達成率
③	SPOD加盟校数 前年度実績	参加者数(実数)	法人			
④	満足度目標率	事後アンケート満足度	%			

1. SPOD共通事業

1-1)SPODフォーラムの実施				参考:令和2年度			参考:令和元年度			参考:平成30年度			
指標	目標値	令和3年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和2年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和元年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	平成30年度実績
①プログラム数	40	1	0			40	4	100		40	4	100	40
②参加者数(定員数)	2,142	1	0			2,142	1,734	2	81	1,590			1,590
〃(前年度実績)	746	1	0			660	746	5	113	660			660
③参加校数(実数)	26	1	0			26	25	3	96	22			22
④満足度	100	1	0			100	99.0	3	99	97.6			97.6

中止
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため

1-2)SPOD内閣府派遣の実施				参考:令和2年度			参考:令和元年度			参考:平成30年度			
指標	目標値	令和3年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和2年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和元年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	平成30年度実績
①プログラム数	25	1	0			25	25	4	100	24			24
②参加者数(定員数)	907	1	0			907	907	4	100	1,064			1,064
〃(前年度実績)	907	1	0			1,064	907	2	85	1,064			1,064
③参加校数(延べ数)	26	1	0			26	51	5	196	35			35
〃(実数)		1	0				25	3	96	24			24
④満足度	100	1	0			100	94.8	3	95	97.6			97.6

※定員数との比較は指標から削除でも良いのではないかと(少なくとも表面からは削除)

SPODホームページ				参考:令和2年度			参考:令和元年度			参考:平成30年度			
指標	目標値	令和3年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和2年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和元年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	平成30年度実績
トップページ等閲覧数	70,000	1	0			70,000	63,541	3	91	64,009			64,009
PDF資料等ダウンロード数	7,000	1	0			7,000	8,595	5	123	8,523			8,523

※R3.4.1～R3.3.31の数値 ※R2.4.1～R3.3.31の数値 ※R元.4.1～R2.3.31の数値

3. SD事業

3-1)大学生・社会人としての基礎力養成プログラムの実施				参考:令和2年度			参考:令和元年度			参考:平成30年度			
指標	目標値	令和3年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和2年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和元年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	平成30年度実績
①プログラム数	4	1	0			4	4	4	100	4			4
②参加者数(定員数)	180	1	0			180	179	3	99	160			160
〃(前年度実績)	179	1	0			160	179	5	112	160			160
③参加校数(実数)	26	1	0			26	18	1	69	42			42
〃(前年度実績)	18	1	0			17	18	4	106	17			17
④満足度	100	1	0			100	97.4	3	97	99.6			99.6

※定員数との比較は指標から削除でも良いのではないかと(少なくとも表面からは削除)

3-2)次世代リーダー養成セミナーの実施				参考:令和2年度			参考:令和元年度			参考:平成30年度			
指標	目標値	令和3年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和2年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和元年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	平成30年度実績
①プログラム数	4	1	0			4	4	4	100	5			5
②参加者数(定員数)	24	1	0			24	11	1	46	9			9
〃(前年度実績)	11	1	0			9	11	5	122	9			9
③参加校数(実数)	26	1	0			26	7	1	27	9			9
〃(前年度実績)	7	1	0			6	7	5	117	6			6
④満足度	100	1	0			100	100	4	100	100			100

中止
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため

※次世代リーダー養成セミナーの開放講義については、3-4)でのカウントへ変更 ※定員数との比較は指標から削除でも良いのではないかと(少なくとも表面からは削除)

3-3)SPOD-SDGの発信				参考:令和2年度			参考:令和元年度			参考:平成30年度			
指標	目標値	令和3年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和2年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和元年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	平成30年度実績
新規認定者数	2	1	0			2	7	5	950	6			6

※認定者 合計32名 ※認定者 合計24名

3-3)職員のための講師養成講座の実施				参考:令和2年度			参考:令和元年度			参考:平成30年度			
指標	目標値	令和3年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和2年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和元年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	平成30年度実績
①プログラム数													
②参加者数(定員数)													
〃(加盟校職員数)													
③参加校数(延べ数)													
〃(実数)													
④満足度													

※項目削除

3-4)各種SDプログラムの開発・実施				参考:令和2年度			参考:令和元年度			参考:平成30年度			
指標	目標値	令和3年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和2年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和元年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	平成30年度実績
①プログラム数	11	1	0			11	11	4	100	13			13
②参加者数(定員数)	137	1	0			137	78	1	57	107			107
〃(前年度実績)	78	1	0			107	78	1	73	107			107
③参加校数(実数)	26	1	0			26	11	1	42	31			31
〃(前年度実績)	11	1	0			11	11	4	100	11			11
④満足度	100	1	0			100	100	4	100	100			100

未実施

※次世代リーダー養成セミナーの開放講義については、こちらでのカウントへ変更 ※定員数との比較は指標から削除でも良いのではないかと(少なくとも表面からは削除)

2. FD事業

2-1)FD担当者研修の実施				参考:令和2年度			参考:令和元年度			参考:平成30年度			
指標	目標値	令和3年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和2年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和元年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	平成30年度実績
①プログラム数													
②参加者数(定員数)													
〃(加盟校教員数)													
③参加校数(延べ数)													
〃(実数)													
④満足度													

※項目削除

2-1)新任教員研修の実施・公開				参考:令和2年度			参考:令和元年度			参考:平成30年度			
指標	目標値	令和3年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和2年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和元年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	平成30年度実績
①プログラム数	5	1	0			5	5	4	100	5			5
②参加者数(定員数)	130	1	0			130	62	1	48	86			86
〃(前年度実績)	62	1	0			86	62	1	72	86			86
③参加校数(実数)	26	1	0			26	13	1	50	21			21
〃(前年度実績)	13	1	0			13	13	4	100	13			13
④満足度	100	1	0			100	96.6	3	97	100			100

※定員数との比較は指標から削除でも良いのではないかと(少なくとも表面からは削除) ※(延べ数)(実数)となっていたところを、(実数)(一昨年度実績)に指標を変更

2-2)ティーチング・ポートフォリオ作成WSの公開・実施				参考:令和2年度			参考:令和元年度			参考:平成30年度			
指標	目標値	令和3年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和2年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和元年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	平成30年度実績
①プログラム数	4	1	0			4	2	1	50	2			2
②参加者数(定員数)	34	1	0			34	16	1	47	22			22
〃(前年度実績)	16	1	0			21	16	1	76	21			21
③参加校数(実数)	26	1	0			26	5	1	19	3			3
〃(前年度実績)	5	1	0			2	5	5	250	2			2
④満足度	100	1	0			100	100	4	100	92			92

※定員数との比較は指標から削除でも良いのではないかと(少なくとも表面からは削除) ※(延べ数)(実数)となっていたところを、(実数)(一昨年度実績)に指標を変更

2-3)各種FDプログラムの開発・実施				参考:令和2年度			参考:令和元年度			参考:平成30年度			
指標	目標値	令和3年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和2年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	目標値	令和元年度実績	達成度(5段階)	達成率(%)	平成30年度実績
①プログラム数	47	1	0			47	50	4	106	34			34
②参加者数(定員数)	1,250	1	0			1,250	864	1	69	829			829
〃(前年度実績)	864	1	0			806	864	4	107	806			806
③参加校数(実数)	26	1	0			26	21	2	81	112			112
〃(前年度実績)	21	1	0			20	21	4	105	20			20
④満足度	100	1	0			100	97.1	3	97	96			96

※定員数との比較は指標から削除でも良いのではないかと(少なくとも表面からは削除) ※(延べ数)(実数)となっていたところを、(実数)(一昨年度実績)に指標を変更

(表の見方)

番号	目標値	実績	単位	達成度(5段階)	達成率(%)	前年度比(%)
①	実施予定プログラム数	実施プログラム数	件			
②	前年度実績数	参加者数(延べ数)	人		達成率 5:100以上 4:100%以上 3:90%以上 2:80%以上 1:80%未満	R元年度 達成率 H30年度 達成率
③	SPOD加盟校数 前年度実績数	参加者数(実数)	法人			
④	満足度目標率	事後アンケート満足度	%			

令和2年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会
及びFD／SD分科会 実施要項（案）

主 催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

日 時：令和3年3月中旬～下旬 13：00～16：00

実施方法：オンライン（Zoom）

出席者：（総会）加盟校各大学長，短期大学長，高等専門学校長等
（FD／SD分科会）加盟校 FD／SD担当者等

1. 総 会

13：00 開会挨拶 SPOD会長：愛媛大学長

13：05 令和2年度の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の
実施状況について（25分）

13：30 令和3年度の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の
運営について（30分）

14：00 質疑応答（30分）

14：30 閉 会

2. FD分科会

14：45 各加盟校での取り組み状況の報告
今後の具体的な事業の進め方について
意見交換 など

15：15 閉 会

3. SD分科会

15：30 各加盟校での取り組み状況の報告
今後の具体的な事業の進め方について
意見交換 など

16：00 閉 会

令和2年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
会計監査実施要項（案）

日 時：令和3年3月

実施方法：対面及びオンライン（Z o o m）

出席予定者：監事 井伊久美子（香川県立保健医療大学長）

監事 溝上 達也（松山大学長・松山短期大学長）

対 応 者：小林直人企画・実施統括者（愛媛大学），S P O D事務局

実施内容：①令和2年度事業予算執行状況報告

②令和2年度事業実施状況報告

③質疑応答

※会計監査結果については、令和3年3月中旬～下旬開催のS P O D総会において報告予定。

※実施方法について、松山大学は対面、香川県立保健医療大学はZ o o mにて実施予定。

令和2年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)

事業評価委員会実施要項(案)

(趣旨)

令和2年度における「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の活動内容や前年度の評価委員からの指摘事項に対する改善状況について、実績報告書をもとにSPOD事業評価委員会委員から評価を行っていただき、今後の事業推進に役立てる。

(主催)

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

(日時)

令和3年2月または3月（3時間程度開催予定）

※各委員との日程調整後、正式に決定する。

(実施方法)

オンライン（Zoom）

(参加予定者)

SPOD事業評価委員会委員

佐藤 浩章 委員（大阪大学）

高野 修 委員（広島経済大学）

伊勢戸 康 委員（大学コンソーシアム京都）

SPOD関係者

ネットワークコア校のSPOD-FD/SD担当者

(事務担当)

愛媛大学教育学生支援部教育企画課(SPOD事務局)

【参考】平成29年度第3回コア運営協議会(H29.7.5開催)資料1「平成28年度SPOD事業評価委員会からの指摘事項に対する対応策について」より抜粋

4. SPOD事業評価の在り方

SPOD事業評価委員会については、これまで実績報告書に基づく評価のみ行っていたが、各委員がより深くSPOD事業について把握できるよう、SPOD事業視察の場を提供する。これを踏まえ、委員会開催を委員任期の最終年度に開催することとし、委員在任中にSPODフォーラム等のSPOD事業を視察していただいた上で、総合的な意見・評価を委員会で行っていただくこととする。

SPOD研修アンケート集計結果

研修名：令和2年度 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（レベルⅢ）

実施日：令和2年9月16日（水）～18日（金）

実施方法：オンライン（Zoom）

参加者数：18名（申込書数19名（1名欠席））

回答者数：17名

1. 参加者ご自身について

(1) 所属先

	回答数	割合
① 大学	17	100.0
② 短期大学	0	0.0
③ 高等専門学校	0	0.0
④ その他（ ）	0	0.0
計	17	0.0

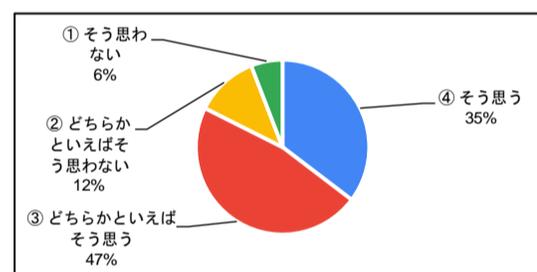
(2) 所属先の設置者

	回答数	割合
① 国（国立大学法人）	13	76.5
② 地方自治体（公立大学法人を含む）	0	0.0
③ 学校法人	4	23.5
④ その他（ ）	0	0.0
計	17	100.0

2. 研修全体について

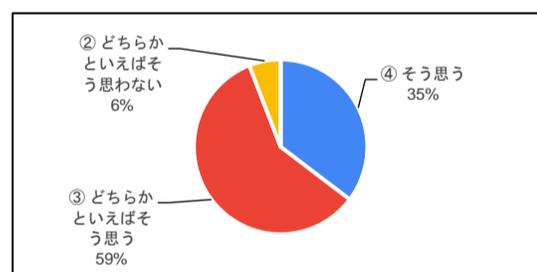
(1) 研修目的や内容についてある程度知った上で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	6	35.3
③ どちらかといえばそう思う	8	47.1
② どちらかといえばそう思わない	2	11.8
① そう思わない	1	5.9
計	17	100.0



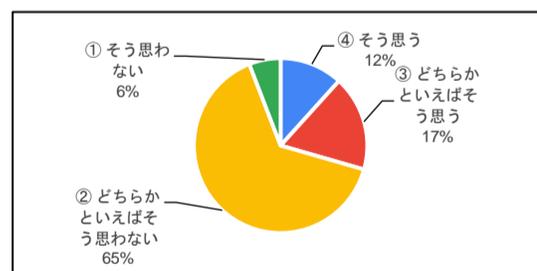
(2) 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した

	回答数	割合
④ そう思う	6	35.3
③ どちらかといえばそう思う	10	58.8
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



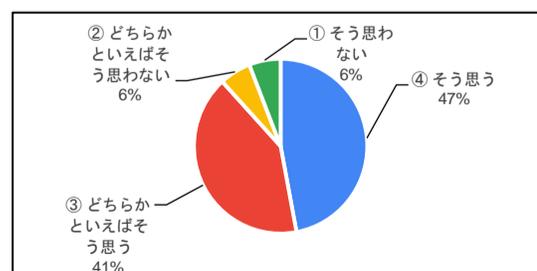
(3) 研修内容をすぐに活用しなければならない状況で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	2	11.8
③ どちらかといえばそう思う	3	17.6
② どちらかといえばそう思わない	11	64.7
① そう思わない	1	5.9
計	17	100.0



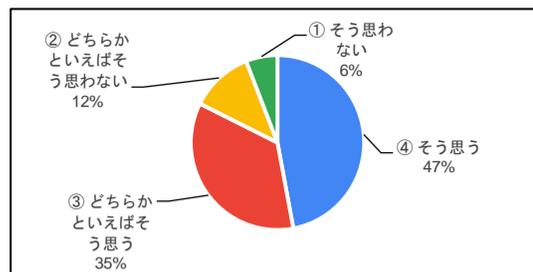
(4) 研修の実施時期は適当だった

	回答数	割合
④ そう思う	8	47.1
③ どちらかといえばそう思う	7	41.2
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	1	5.9
計	17	100.0



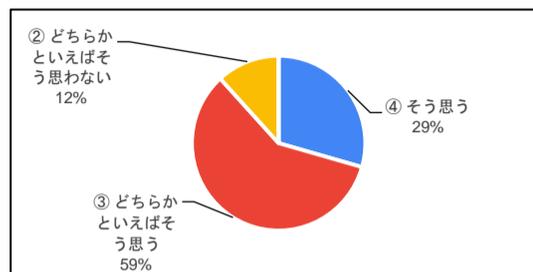
(5) 研修方法（対面・オンライン等）は適切なものだった

	回答数	割合
④ そう思う	8	47.1
③ どちらかといえばそう思う	6	35.3
② どちらかといえばそう思わない	2	11.8
① そう思わない	1	5.9
計	17	100.0



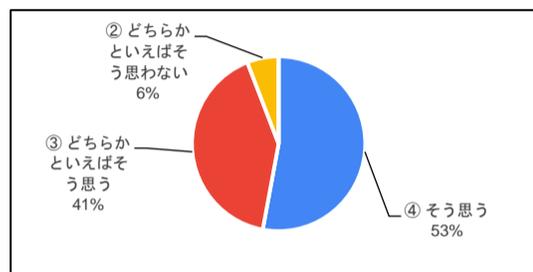
(6) 研修時間は研修目的を達成するために丁度良い長さだった

	回答数	割合
④ そう思う	5	29.4
③ どちらかといえばそう思う	10	58.8
② どちらかといえばそう思わない	2	11.8
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



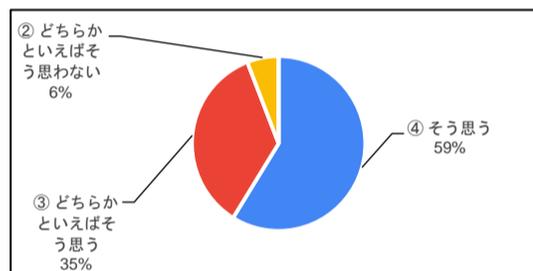
(7) 到達目標は明確に示されていた

	回答数	割合
④ そう思う	9	52.9
③ どちらかといえばそう思う	7	41.2
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



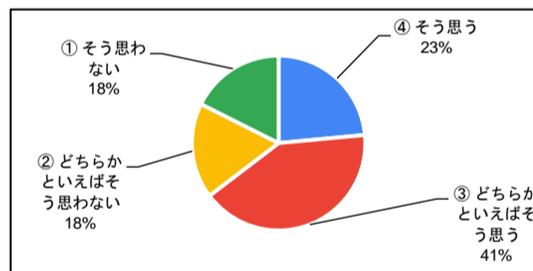
(8) 研修で得た知識やスキルは自組織の改善に役立つと思う

	回答数	割合
④ そう思う	10	58.8
③ どちらかといえばそう思う	6	35.3
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



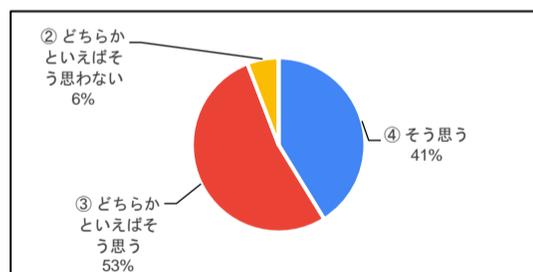
(9) 新たに人的つながりを作ることができた

	回答数	割合
④ そう思う	4	23.5
③ どちらかといえばそう思う	7	41.2
② どちらかといえばそう思わない	3	17.6
① そう思わない	3	17.6
計	17	100.0



(10) 研修内容は満足できるものだった

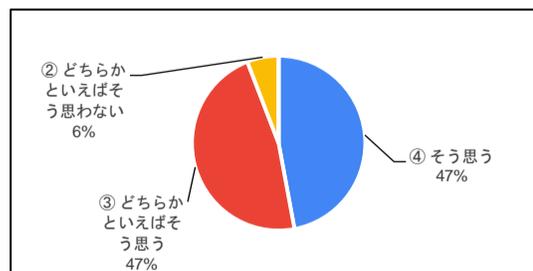
	回答数	割合
④ そう思う	7	41.2
③ どちらかといえばそう思う	9	52.9
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



3. 「戦略策定と組織運営」について

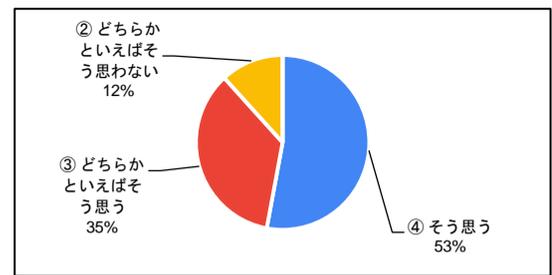
(1) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	8	47.1
③ どちらかといえばそう思う	8	47.1
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



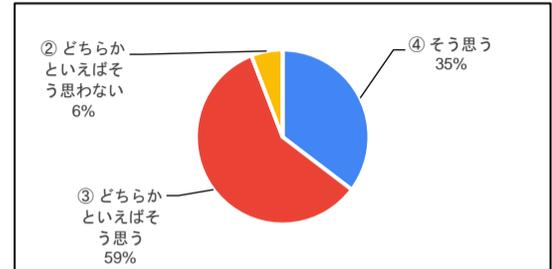
(2) 研修はわかりやすい順序ですすめられた

	回答数	割合
④ そう思う	9	52.9
③ どちらかといえばそう思う	6	35.3
② どちらかといえばそう思わない	2	11.8
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



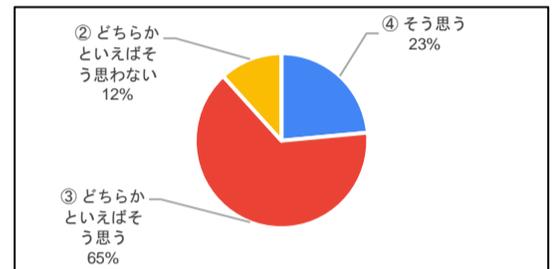
(3) 講師の言動は学習意欲を高めた

	回答数	割合
④ そう思う	6	35.3
③ どちらかといえばそう思う	10	58.8
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



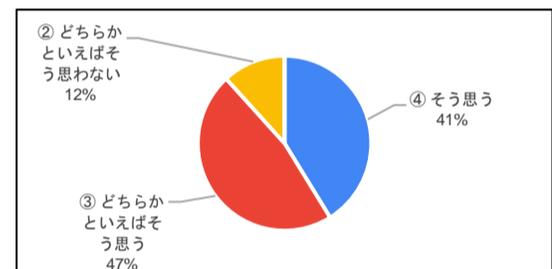
(4) 自分の業務に活かせる知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	4	23.5
③ どちらかといえばそう思う	11	64.7
② どちらかといえばそう思わない	2	11.8
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



(5) 受講したことによって業務への取り組み方が改善されると思う

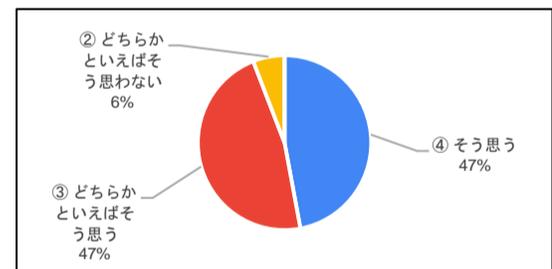
	回答数	割合
④ そう思う	7	41.2
③ どちらかといえばそう思う	8	47.1
② どちらかといえばそう思わない	2	11.8
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



4. 「メンタルヘルス・ラインケア実践」について

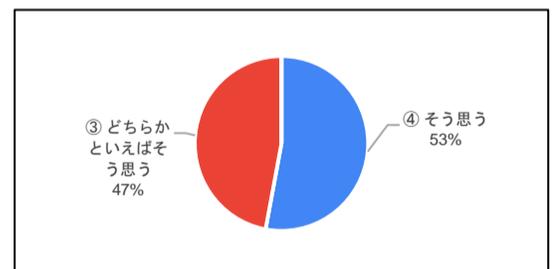
(1) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	8	47.1
③ どちらかといえばそう思う	8	47.1
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



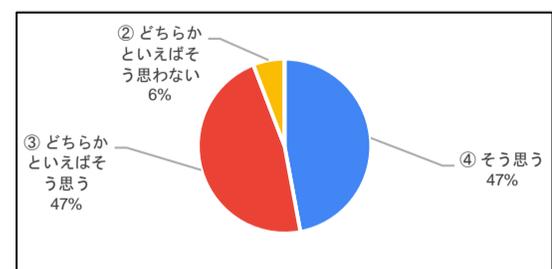
(2) 研修はわかりやすい順序ですすめられた

	回答数	割合
④ そう思う	9	52.9
③ どちらかといえばそう思う	8	47.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



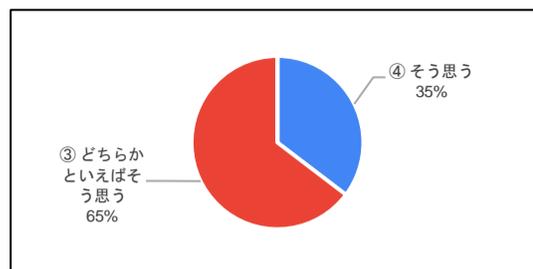
(3) 講師の言動は学習意欲を高めた

	回答数	割合
④ そう思う	8	47.1
③ どちらかといえばそう思う	8	47.1
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



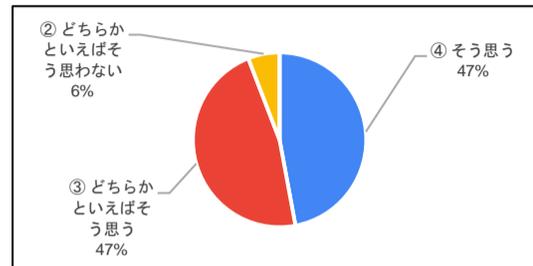
(4) 自分の業務に活かせる知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	6	35.3
③ どちらかといえばそう思う	11	64.7
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



(5) 受講したことによって業務への取り組み方が改善されると思う

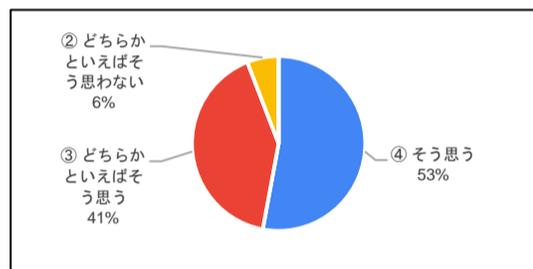
	回答数	割合
④ そう思う	8	47.1
③ どちらかといえばそう思う	8	47.1
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



5. 「人材マネジメント」について

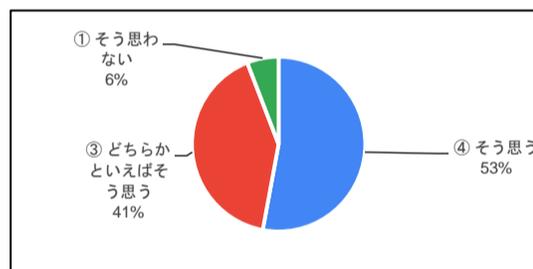
(1) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	9	52.9
③ どちらかといえばそう思う	7	41.2
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



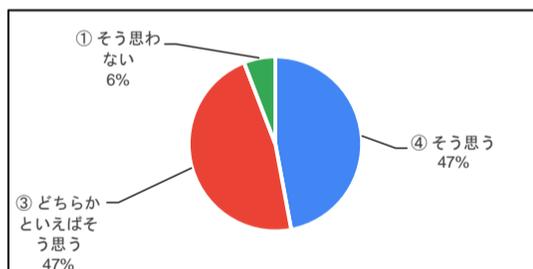
(2) 研修はわかりやすい順序ですすめられた

	回答数	割合
④ そう思う	9	52.9
③ どちらかといえばそう思う	7	41.2
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	1	5.9
計	17	100.0



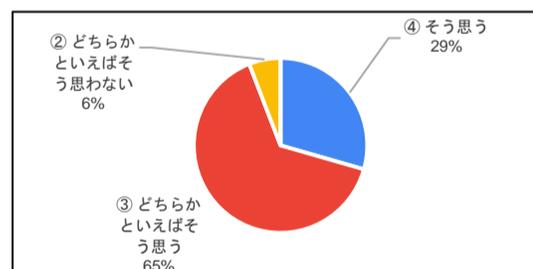
(3) 講師の言動は学習意欲を高めた

	回答数	割合
④ そう思う	8	47.1
③ どちらかといえばそう思う	8	47.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	1	5.9
計	17	100.0



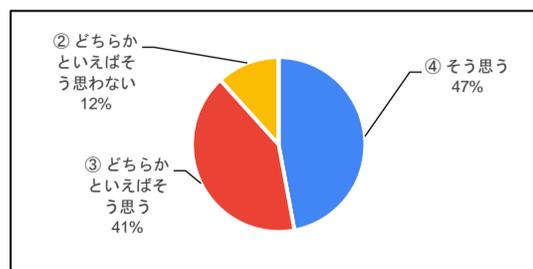
(4) 自分の業務に活かせる知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	5	29.4
③ どちらかといえばそう思う	11	64.7
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



(5) 受講したことによって業務への取り組み方が改善されると思う

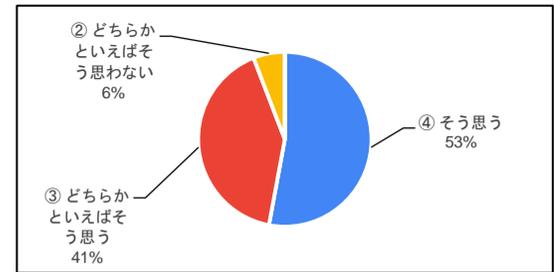
	回答数	割合
④ そう思う	8	47.1
③ どちらかといえばそう思う	7	41.2
② どちらかといえばそう思わない	2	11.8
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



6. 「危機管理特論」について

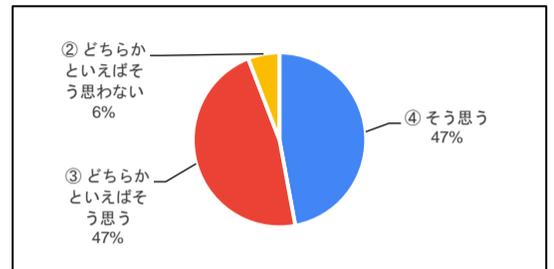
(1) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	9	52.9
③ どちらかといえばそう思う	7	41.2
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



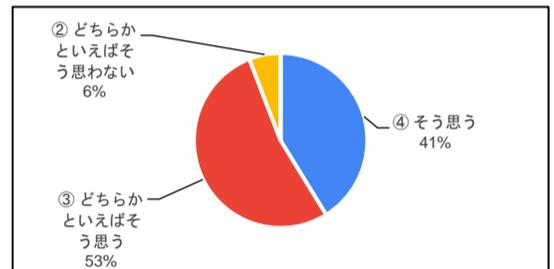
(2) 研修はわかりやすい順序ですすすめられた

	回答数	割合
④ そう思う	8	47.1
③ どちらかといえばそう思う	8	47.1
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



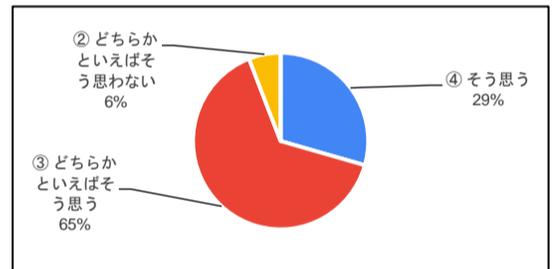
(3) 講師の言動は学習意欲を高めた

	回答数	割合
④ そう思う	7	41.2
③ どちらかといえばそう思う	9	52.9
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



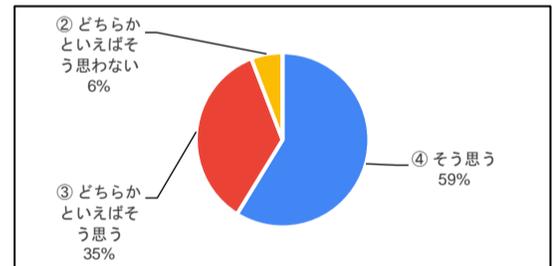
(4) 自分の業務に活かせる知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	5	29.4
③ どちらかといえばそう思う	11	64.7
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



(5) 受講したことによって業務への取り組み方が改善されると思う

	回答数	割合
④ そう思う	10	58.8
③ どちらかといえばそう思う	6	35.3
② どちらかといえばそう思わない	1	5.9
① そう思わない	0	0.0
計	17	100.0



7. この研修を受講して良かったと思われる点を、具体的にお書きください

- 危機管理特論が特に良かった。管理職としての意識づけを強く促す内容であった。
- 研修内容は全て自己啓発に繋がるもので、参加させて頂き大変良かったです。特にオンラインの体験もでき、他の方のグループワークでの進め方、意見のまとめ方が大変参考になりました。
- 常に念頭に置いて業務に取り組む必要があるが、日々の仕事に忙殺されて忘れがちになる事が多い。改めて意識付けになったと思う。
- 日々の業務に追われるなかで、他の教職員との協働の調整役をしなければいけないこと、課員のメンタルヘルスケアでは傾聴と共感し理解すること等、管理職の役割等がよく理解できた。
- 組織は人間関係が重要と考えています。部下への接し方については、自己流でやってきたので、少しは理想に近づけるように資料を確認しながら考える時間を持ちたいと思います。
また、不都合な事例が発生したときに「対岸の火事」・「山門から喧嘩見る」など他人事と無関心ではなく、「人のふり見て我がふり直せ」・「他山の石」など「自分達への良い教訓」とできるように、考え方を変えたいと思います。

○ 今回の研修は、管理職としてどう対応するかということに主題があり、それを考える上で大変役に立ったと思います。
例えば、人事マネジメントにおいて、課員であれば事例に出ていたような上司は当然×を出すのですが、管理職としては、部下の良いところはきちんと評価し、悪い部分は良い方向へ導くように考えないといけないという視点です。
これは、戦略策定と組織運営、メンタルヘルス・ラインケア、危機管理、それら全てにおいても同様で、管理職という立場からどう考えるかという良い研修となりました。

○ 戦略策定と組織運営では、各大学の強みをいかした戦略を各大学から説明いただき刺激をうけ、自組織の戦略をあらためて確認しミッションを進めていきたいと思いました。
メンタルヘルス・ラインケアでは、傾聴と共感で未解決な感情を促すよう接するよう職場のメンタルヘル스에配慮したラインケアを実施していきたいと思いました。
人材育成マネジメントでは、部下を評価する際、タイプとレベルの両面で評価しモチベーションをあげるように指導するということを知り、今後の人事評価と指導に活用したいと思いました。
危機管理では、管理職の自覚として危機への直観力を鍛え、常に組織が自分自身がリスクとならないよう意識する重要性を理解できて、危機管理に無関心な自分にとって、「無関心こそが、一番のリスクです。」との講師の言葉が心に響きました。
全体として、管理職としての必要な知識・行動を色々な角度から工夫した教材で研修していただき、改めて管理職は大変だなという実感と責任がわき、自分にとって意義深い研修でした。ありがとうございました。

○ 現在、鬱病の職員を抱えており、リアルタイムな研修項目があったため良かった。

○ 管理職としての視点・役割について気づくことができた。

○ オンライン研修についてはよくわかった。

○ 今後の自身の管理者としての進め方のポリシーが得られた。

○ 現職は5年目となります。自身を点検するいい機会となりました。

○ 初めてのオンラインによる研修に参加しました。オンラインに利点がたくさんあることを実感できた。

○ 能動的に常に問題意識を持って、気づき行動しなければいけないと感じた。

○ 他大学の方と接することができるのは、遠隔であっても得るものがあります。

○ 様々な気づきをもらえた。

○ 他の大学の戦略策定での強みや、業務上の問題を共有できたことが良かったです。

8. この研修をより良いものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください

○ 全体としての時間ではなく、個々のタームが長かった。オンラインのせいかもしれません。

○ 凄く駆け足の講義があり、息苦しくなった時がありました。講師の先生もオンラインということで、一方的なお話で、早口になられたのでしょうか。

○ グループワークの時間について、会話の途中でブチッと切れるのが残念だと感じた。あと1分のメッセージは出しているが、気がつかない事も多かった。もうちょっと目立つサインがあれば良いと思う。

○ もう少しミーティングの時間があればいいのと思った。

○ できることなら5分でいいので、講義の間で休憩（リフレッシュ）する時間がほしいです。（席をたって少し歩くだけでもいいので。）

○ ブレークアウトの時、残り時間が表示されたりされなかったりしましたが、常に表示していただけるとスムーズな話し合いが行えるので良いと思いました。

- 研修内容は良かったですが、やはりオンラインより対面での研修が良かったです。これは誰もが思っていることだと思いますが、今年は、コロナ禍で残念でしたが、情報交換会とかでの研修生、講師、スタッフとのコミュニケーション、人脈づくり、グループディスカッションでの一体感が今いち味気ないという点で次回はコロナの終息後、対面でまた違うコースのSPOD研修を受講させていただければと思います。
- 野本講師が笑いネタもあり話術があり研修を気持ちよくさせて頂いた。道具ネタが無くても途中笑いネタを入れた講義方法にしてくれると参加しやすい。研修参加者の半分以上が「うける」ネタをお願いします。
- 内容は充実していたと思います。ただ、自分にとっては盛りだくさんすぎて若干消化しきれませんでした。
- 対面でなくてもオンラインで十分だと思う。対面（出張）だと職場で仕事ができないので受講申込段階であきらめてしまうので。
- 資料が開催週の週初めに送付されてきたが、せめて前週末に提供いただけたら、もっと読み込んで、研修に臨めたと残念だ。
- 特にありません。研修の時、受講生からの意見や要望等を、その時点で素早く改善していただいたと思います。感謝します。
- 今回が初のオンライン開催だったので、時間配分などさらなる内容のカスタマイズがされていくのだろうと思えた。オンライン研修自体に期待が持てました。
- 継続して複数回行った方が、意識付けができると思います。
- 各講義の時間配分を再考していただければと思いました。※「戦略策定と組織運営」については、もう少し時間を取っていただけるといいかと思いました。
- グループ分け（大学種ごと、職種ごと等）

9. オンライン研修を受講されてのご意見やお気づきの点など、ご自由にお書きください

- 対面と比較すると、研修効果は薄いと思う。また、情報交換（飲み会）であったり、雑談等の交流が出来ない点は残念だと思う。
- 愛媛大学の事務局の皆様、ありがとうございました。オンラインでの開催で、緊張しましたが、とても楽しく受講できました。
研修内容に加えて、オンラインの勉強もしなくてはと、つくづく感じました。
お世話になりました。<(_ _)>
- 思った以上にオンラインの可能性を感じたが、講師の方々は空気感などが伝わりにくく、ご苦労されたと思います。全員の顔を画面に映して、雰囲気を感じられるのは、今回の人数くらいが限界ではと思いました。
- 愛媛大学で受講したかったが、思ったより以上にオンラインでも十分研修できたと思う。最初は、不安でしたが、終了し振り返ると大変有意義な時間でした。
- 講師の皆様、事務局の皆様、大変お世話になりました。
初めてSPODが主催する研修を受けさせていただき、能力開発の重要性を認識しました。部下にもこの研修の受講を進めたいと思います。
- オンラインでの研修は初めてでしたが、思った以上にスムーズに受講できました。対面式の良さも当然ありますが、この方式であれば、時間と費用が節約できることから、コロナ後も続けていただければと思います。
講師の方々も、オンライン研修なりのご苦労があったと思いますが、お世話になりたいへん有り難うございました。
- 自分の顔が気になって嫌だった。
- Zoomでの研修もある意味、便利であり有効でもあるんじゃないかと思った。

- Zoomの操作が最初は、不慣れでしたが、日を増すことに慣れて、オンライン研修は楽しくなりました。座学の講義は説明スライドを画面共有で説明いただき、聞く側は、リラックスして講義を聞いてこの点ではオンライン研修の方が対面より良かったと思います。ただ、長時間でのグループディスカッションであらゆる情報から答えを導き出すシミュレーションではグループ内でのメンバー全員の情報共有が随時図れない（対面だとホワイトボード等に付箋を貼りあって）という点で危機管理シミュレーションでは苦慮したのとワークディスカッションでのグループでの一体感が味わえなかったかなと思いました。また危機管理シミュレーションをする場合は、もう少し、時間を長くするとシナリオをある程度提示してからで検討するとか工夫したほうが良いのではと思いました。
- 想像していたよりよかったです。Zoomでのイベント開催等の参考にと考えながら受講させていただきました。講師の先生と事務局の連携、種々の切り替え、等運営側は大変な時間と労力をかけて作り上げられたことと存じます。とてもいい経験ができました。お疲れ様でした。ありがとうございました。
- いろいろと工夫くださりありがたかったが、グループワークの残り時間の把握ができなくて、意見のとりまとめにあたふたした。システムの問題もあると思えあれるが、一考いただきたい。また、各機構により、オンライン会議の状況も違うと思われるが、本学ではMicrosoft Teamsが多く、Zoomは初めてだったので困惑した。また、支給されているのがiPadだったため、指示された場所にアイコンがなく、苦慮した。
- 人生初のオンライン研修でした。ついていけるかどうかは不安でした。講師の先生方、SPOD事務局の周到的な準備のおかげで、スムーズに楽しく研修が出来たと思います。ありがとうございました。
- 思った以上に受け入れることができた。もしかしたら今後の授業スタイルが大きく変わってしまうのではと、びっくりした部分がたくさんあった。
- 思った以上に受けやすかった。通常の研修だと途中で眠たくなるが、オンラインは見られているという意識もあって、集中できた。
- 事務局の方の技術と知識によって、とてもスムーズに運営されていたと思いました。せっかく設けていただいた講義後の自由時間を受講者フリーにしないで、場を温める工夫をしていただいたら、利用者があったかもしれないと思った点が残念でした。（特に、1日目に利用がなかったので、2日目に）
- 人脈つくりのためにもやっぱり対面でしたかったです。オンラインは運営側が大変だと思いました。お世話になりました。
- 遠隔講義を受講している学生の大変さが分かりました。3日間講師の先生、事務局の方にお世話になりました。ありがとうございました。